

第40号

高石市

# 青少年健全育成

発行所  
高石市青少年健全育成推進会  
(高石市教育委員会)  
〒592-8585  
高石市加茂4丁目1番1号  
TEL 265-1001

## 高石っ子憲章

高石市青少年健全育成推進会  
昭和61年7月15日制定

わたしたちは、高石っ子が自ら豊かな社会をつくり出し、たくましく生きぬく人間に成長することを願っています。

そのため、家庭・学校・地域の協力のもと、自由と平和を愛し、正義と秩序を重んじ、たがいに尊重しあう民主的な人間に育つことをめざして、この憲章を制定します。

- 高石っ子は、ひとりひとりがかけがえのない人として、たがいの人権を尊重する人間になりましょう。
- 高石っ子は、自ら学び、考え、判断し、豊かな創造力とひろい心をもった人間になりましょう。
- 高石っ子は、自然や人間のいとなみに感動し、生きることへの感謝し思いやりのある人間になりましょう。
- 高石っ子は、いかなる困難にも立ち向かう意志の強い人間になりましょう。
- 高石っ子は、家族のふれあいを大切に、家族の一員としてよりよい家庭を築きあげる人間になりましょう。
- 高石っ子は、あらゆる活動の場を通して、豊かな体験を積み、心身共に健康な人間になりましょう。
- 高石っ子は、人や郷土・地域を愛し、社会に役立つ人間になりましょう。
- 高石っ子は、歴史と文化を大切に国際感覚を身につけた人間になりましょう。

## 「コロナに負けるな！ 頑張ろう高石！」

高石市青少年健全育成推進会会長

高石市長

阪口伸六



【STOPコロナ差別】

新型コロナウイルス感染症については、市民の皆様のご協力のおかげで感染者数も減少傾向にあります。市民の皆様におかれましても、お気を緩めることなく、引き続き、うがい手洗い、手指の消毒、マスク着用等、コロナ予防対策の徹底をよろしくお願いいたします。

また、コロナに感染された方を探索したり、特定しようとして、SNS上で誹謗・中傷をしたり、コロナ差別につながるような行為はあってはなりません。石下の、高石小学校の西川さんの標語のとおり、市民一丸となって戦う相手はウイルスであり、人ではありません。優しく思いやりを持ち、冷静な行動をお願いします。



高石小学校 西川希歩さんの標語

### 【ウイルスコロナ・アフター】

コロナを見据えたまちづくり！高石市では、この新型コロナウイルス感染症予防対策として、市独自に、いち早いマスクの提供、臨時給付金の配布、ひとり親世帯への給付金の上乗せ支給、水道料金の減免、約10億円の経済効果をもたらせた「高石うれし」とキャンペーンによる地元商業の活性化などを行いました。とく

に学校環境としては、小・中学校に給食時のパーティションの整備、ウイルス抑制効果のある空気清浄機や換気の補助として扇風機の設置等を行い、コロナ予防対策を徹底しました。

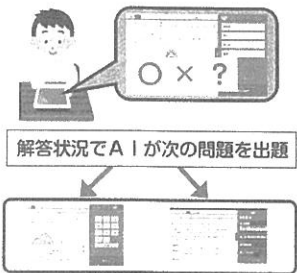


パーティションを使った給食

また、アフターコロナをめざして、国が進めるデジタル化社会の一環として、DX（デジタルトランスフォーメーション）を、次世代を育む学校教育からと、昨年11月にいち早く小中学校の全児童・生徒一人一台のタブレット端末を配備、学校教育のICT化を進め、現在、教職員も積極的に児童・生徒とのオンラインでの交流を進め、さらにAIドリルによる一人ひとりの習熟度に応じた学習指導等を推進し、通常時における主体的・対話的で個別最適化された学びと、オンライン授業実施にも対応できるよう学びの継続を実現しました。



タブレット端末を使った授業



あわせて、国土強靱化の国の支援を活用し、市では指定避難所となっている市立小・中学校の体育館には、LPガスを使った空調の整備を進めており、令和3年度中に完了する予定で、災害時にもソーシャルディスタンスを確保しながら避難生活が可能となるようワンタツツテン、段階別製間仕切りを配備しました。

### 【子どもたちの体験活動の確保】

昨年来、2度にわたる緊急事態宣言により、子どもたちも保護者、高齢者の皆さんも外出自粛等、余儀なくされましたが、市では、「コロナに負けるな、頑張ろう高石」をスローガンに、子どもたちの体験活動・文化活動に触れる機会を確保するため、検温・消毒等コロナ感染症予防対策を十分に行ったうえで、アプラホールや図書館において、映画まつり、読書感想文教室や郷土史展等のイベントを夏休み期間に実施しました。また、市民の健康2次被害を防ぐべく、市民体育大会の代替イベントとして健康ウォーキングを実施し、市民文化祭、成人式等もコロナ予防対策を徹底するなど、内容を変更し実施しました。

今年1月には、東京2020オリンピックの聖火の展示を行い、オリピックセレモニーには本市ゆかりのオリンピックやアスリートの方に出演いただき、貴重な体験をお話し



読書感想文教室

いただきました。ランタンの中で輝く聖火、ギリシャで灯された希望の光を見て、会場はオリンピックムードに包まれ、延期された東京オリンピック・パラリンピックの今夏開催を待ち望む声が高まりました。新たな日常をめざし、スポーツや文化は、人々に夢や希望を与え、地域の絆を結び、活気をもたらしてくれる存在です。

朝の来ない夜はありません。現在、市では、安全かつ迅速にワクチン接種が早期にできるよう全力で準備を進めております。今後もしっかりとコロナ感染症予防対策を行いながら、引き続き、「コロナに負けるな！頑張ろう高石」と、ともに頑張ってもらいましょう。何卒、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



東京2020オリンピック聖火が高石にやってくるセレモニー

# わたしたちの生活を話し合う会

～わたしたちの学校園生活を、より楽しくするために～

今年度のテーマ「いじめのない学校をつくるために」

毎年、小学校・中学校が連携して開催されています。今年度で36回を迎え、令和2年12月23日(水)に高石市役所多目的ホールで開催されました。

高石市立の小中学校から児童生徒の代表が集まり、各学校のいじめを許さない取組みについての発表を行いました。

## 高石小学校

「明るく元気で  
笑顔があふれる学校」  
【取組内容】

- クイズラリー
- ・ペア学年のペアの人と協力して、クイズに挑戦する。学校の中のいろいろなところにクイズをはって置く。
- ・密にならないよう、学年ごとに目を変える。
- いいことボックス
- ・いいなと思った友だちの行動を紙に書いてボックスに入れる。
- ・代表委員会だよりで紹介する。

## 羽衣小学校

「心の煌木(きらめき)  
、ほくのわたしのいじめNO宣言」  
【取組内容】

- あいさつ運動
- ・登校時に正門に立ち、元気に挨拶を行い、学校を明るくする。
- グループパトロール
- ・雨の日など運動場に出ることができない20分休みに廊下を走ったり騒いだりしないように見回る。
- 生活目標の決定
- ・各学期の初めに生活目標を決定し、朝礼などで報告する。
- 集会遊び
- ・「スタンブラリー」や「だるまさんが転んだ」など、代表委員会で作った遊びを全校児童で行う。



▲心の煌木

「ダメなものだ！」と強く残るように続けていきたい。そして、この「煌木」が、もっと大きく輝くような学校にしていきたい。

## 高陽小学校

「高陽をステキな学校にしよう」  
【取組内容】

- 夏休み・冬休みの過ごし方の啓発活動
- ・代表委員による劇、手紙
- あいさつ運動兼ユニセフ募金活動
- そうじ週間
- ・掃除の時間に集めたごみを1つの袋にためていき、きれいになったところの写真を撮るとともにアンケートの実施、ポスター制作を行ったところ、各学年のそうじに取り組み姿勢が向上した。



▲冬休みの過ごし方に関する創

## 取石小学校

「スマイル運動」取石に一人ひとりの虹をかけよう」  
【取組内容】

- スマイル運動
- ・「学校生活を笑顔で楽しく過ごせるようにする」「いじめのない学校にする」という2つの大きな目標を掲げ、毎年児童会を中心にして取り組んでいる。今年度は「個性を大切にしていきたい」という思いを込めた児童会目標「取石に1人ひとりの虹をかけよう」も含めて考えていくことにした。
- ・全学年にアンケートを実施したところ、多くの児童が「学校が楽しい」と答えている反面、「楽しくない」と思っている児童が想定以上に多いこと、「学校が楽しい」と答えている児童の中にも友だち関係や悪口など、様々な悩みを抱えているということが分かった。
- ・アンケートの結果を踏まえ、友だち関係についての悩みとしてよくある「無視」「うわ

## 東羽衣小学校

「はなまる東小の実現に向けて」  
【取組内容】

- はなまる東小
- ・「はなしをきく」「なかよくたのしく」「まいにちあいさつ」「ルールをまもる」の4つのキーワードの頭文字で、これを合言葉に笑顔いっぱい東羽衣小学校をめざしていき
- はなしをきく



▲頑張るぞカード

## 清高小学校

「いじめをなくすために」  
【取組内容】

- 委員会での話し合い
- ・清高小学校からいじめをなくすために何が出来るのか、話し合った。
- ・個人でできることとして、



▲掲示された合言葉とニコニコ集め

## ▼ペア活動



▲クイズラリー

・新型コロナウイルス感染症予防のため、集会遊びなどできなかつたものもあつたので、今年から始めたが、これからは皆の心に「いじめは絶対

・きつい口調、ケンカ、いやがらせなど、いじめにつながるものをなくしたい。

・「陰口・悪口」「決めつけ」をテーマにした啓発動画を作成し、動画についてクラスで話し合ってもらった。
- ・話し合いの後、取石小学校をさらに良い学校にするために自分ができることを「頑張るぞカード」に書いてもらい、そのカードと交換に、頑張るといふ気持ちの証として、「フルーティージェストラップ」を児童に配布した。
- ・3学期にアンケートの実施を予定しており、自分たちの決めた目標にどれだけ取り組めたかを振り返る機会にしたい。

・月1回、4～6年生の学級代表と児童会が集まって、学校のことを話し合い、取組みについて考える。
- なかよくたのしく
- ・東羽衣小学校のいいところを見つけないといけないことをなくすことの一つの方法を考え、東小のいいところを皆に書いてもらい、掲示する「ニコニコ集め」を行った。
- まいにちあいさつ
- ・朝のあいさつをするので、明るい学校につながると考え、11月にあいさつ運動を行った。
- ルールをまもる
- 12月に1～3年生にルールについての紙芝居をした。皆一生懸命に聞いてくれた。

・「はなまる東小の実現に向けて」

令和3年3月31日  
 いじめを見たなら注意する、ボ  
 スターで呼びかけるなど、意  
 見が出た。  
 ・クラスでできることとして  
 は、みんな遊びや劇で伝える  
 ことなど、意見が出た。  
 ・学校でできることとして、  
 あいさつ運動、たてわり学年  
 交流、カウンセリングなど、  
 意見が出た。  
 ○実際に行った啓発  
 ・劇  
 ・動画作製  
 ・ポスターで皆に伝える

○これからも皆で「いじめは  
 許さない、そして冗談でも相  
 手を傷つけることは言わな  
 い」ことを大切にして、いじ  
 めのない清高小学校を作っ  
 ていく。



(3) 高石市青少年健全育成  
**加茂小学校**  
**「あいさつ運動」**  
**【取組内容】**  
 ○あいさつ運動  
 ・「あいさつ」「いじめな  
 くん登録」の4つのキーワー  
 ドの頭文字で、元気に明るく

あいさつをし、いじめがなく、  
 きれいな学校になれば、皆が  
 るん登校できる学校にな  
 る、という思いをもって取り  
 組みを行った。  
 ○ブルーバード運動  
 ・「いじめ」とはどんな行動  
 をすることなのかについて話  
 し合い、「かげ口」「無視」  
 「悪口」などの意見が挙がっ  
 た。  
 ・これらをもとに啓発動画を  
 作成した。「やられた側はど  
 んな気持ちになるか」「その  
 行動のどこがいけないか」に  
 ついて、分かりやすく、しっ  
 かりと考えられるように工夫  
 した。  
 ・各クラスで動画を流しても  
 らい、いじめについて考える  
 授業を行った。その後、「い  
 じめを許さない」という決意表  
 明を表すカードと交換にプ  
 ルーバードストラップを渡し  
 た。



▲ブルーバードストラップ

○あいさつ運動  
 ・あいさつをすることで、学  
 校全体が明るくなり、いじめ  
 もなくなっていくと考えた。  
 今年度は新型コロナウイルス  
 に対する不安を吹き飛ばし、  
 皆が元気に過ごせる学校をめ  
 ざしたい。

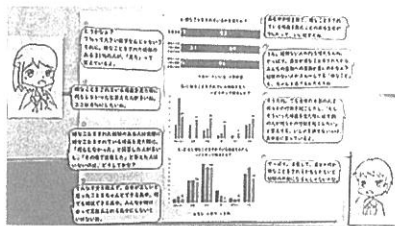
**高石中学校**

**「いじめを許さない」**  
**いじめを許さない！**

○いじめアンケート  
 ・「嫌なことをされた経験は  
 あるか?」「高石中にいじめ  
 はあるか?」「いじめだと思  
 う項目」「嫌なことをされた  
 ときに相談する相手はいる  
 か?」「いじめはどんな理由  
 があってもダメか?」など、  
 様々な質問をして、いじめに  
 対する意識を確認した。  
 ・その結果、嫌なことをされ  
 た経験のある生徒が年々減少  
 していること、生徒の大半が  
 「いじめはどんな理由があっ  
 ても駄目だ」と考えている  
 ことなどが分かったが、  
 100%の生徒が「いじめは  
 どんな理由があっても駄目  
 だ」という答えになるように、  
 「いじめをなくす」「いじめ  
 を許さない」活動を続けてい  
 きたい。

○いじめアンケート結果の校  
 内揭示  
 ・例年、いじめアンケートの  
 結果を文化活動発表会で結果  
 報告をしていたが、今年度は新  
 型コロナウイルスの影響で文  
 化活動発表会が中止になった  
 ので、校内掲示で結果報告を  
 することにした。校内掲示す  
 る際には、皆の興味を引くよ  
 うに、アンケート結果を男の  
 子と女の子の会話形式で紹介  
 した。

○いじめをなくすために  
 ・いじめに関する標語を学校  
 全体で考えた。



▲いじめアンケート結果の校内揭示

**高南中学校**

**「人の嫌がること」を  
 なくす」**

○アンケートの実施  
 ・アンケートの内容について  
 は、全学年共通の質問を生徒  
 会で考え、学級代表が自分た  
 ちの学年の状況を考え、学年  
 の質問を考えました。  
 ・アンケートの「人から嫌な  
 ことをされたり、言われたり  
 したことはありますか」とい  
 う質問では、半分以上の人が  
 嫌な思いをしていることが分  
 かった。どのようなことをさ  
 れたかという質問をした結果、  
 一番多かったものが「変なあ  
 だ名で呼ばれる」、二番目は  
 「物を取られる」、三番目は  
 「笑いのにされる」という  
 結果になった。

○「人が嫌がる行為」につい  
 て文化祭で発表  
 ・よくある「嫌がらせ」の状  
 況について動画を制作し、ど  
 のような行動をとればいいか  
 を提案した。

・生徒会役員で行動宣言を行  
 い、文化祭最終日に全校生徒  
 にも行動宣言を実施した。行  
 動宣言は学級掲示をし、生徒  
 会の提案を含めた感想を生徒  
 会通信でまとめた。  
 ○生徒会提案の学活を実施  
 ・各クラスで学級代表が指導  
 者となり、学校生活で「嬉し  
 かったこと」「嫌だったこ  
 と」を各班で協議し、「嫌  
 だったこと」について少しで  
 も減らすための行動を班でま  
 とめて発表した。



では、「嫌がらせ」が  
 なくなるためには、  
 周りの人は、どのような行動を  
 とればよいでしょうか?

▲文化祭での発表

のあと、「君の名はゲーム」  
 を各クラスで行った。  
 ※「君の名はゲーム」とは、  
 クラスのメンバーのことをよ  
 り知るためのゲーム。紙の表  
 に①好きなこと②休み時間の  
 過ごし方③部活動を、提出さ  
 れたものからランダムで3枚  
 を選び、誰が書いたものかを  
 グループごとに推理する。  
 ○いじめ撲滅キャンペーン  
 ・笑顔の花を咲かせよう!  
 ・笑顔になると、気分が明る  
 くなり、前向きな気持ちにな  
 る。つまり、皆が笑顔で学校  
 生活を送ることで学校全体が  
 明るくなり、いじめの予防や  
 全体での思い出づくりにつな  
 がるのではないかと考えた。  
 そこで、テーマを「笑顔」と  
 して、全校に向けて「笑顔」を  
 やす行動とは何かを訴えかけ  
 た。

・各クラスでクラスカラーの  
 花びらを配布し、花びらに  
 「皆が笑顔になれるために自  
 分ができること」を宣言して  
 もらった。  
 ・花びらを一枚の模造紙にま  
 とめ、「笑顔の花」を作成し、  
 正面玄関に掲示し、学校内外  
 に向けていじめの防止を訴え  
 た。

**取石中学校**  
**「いじめをなくすために」**  
**【取組内容】**  
 ○リーダー研修  
 ・毎年夏休みにリーダー研修  
 を行っている。今年も夏休み  
 に羽衣青少年センターにて研  
 修をおこなった。「リーダー  
 とは」「いじめをなくすため  
 には」を生徒会のメンバーで  
 集まって話し合った。  
 ・研修の内容をスチームでの全  
 校集会を通して発表した。そ



参加児童生徒の感想



▲私たちの生活を話し合う会の様子

・他の学校がしている活動な  
 ど、色々なことが学べ、良い  
 経験になった。自校にも取り  
 入れていきたい。  
 ・皆の前で発表するのは緊張  
 したが、やり終えた後は拍手  
 を貰え、嬉しい気持ちになっ  
 た。  
 ・アンケートをとったり、そ  
 の結果をグラフなどで表した  
 り、わかりやすい発表方法を  
 まねたいと思った。  
 ・「いじめは絶対にだめだ」  
 ということを再確認した。

### 青少年健全育成推進会の主な取り組み

高石市青少年健全育成推進会では、次代を担う青少年たちが健やかに成長するよう、いろいろな取り組みを行っています。

#### 令和2年度高石市青少年健全育成推進会事業報告

##### 2年

###### ★街頭指導

市内各小学校別に毎月1～2回実施（通年実施）

青少年健全育成の啓発推進及び愛の一声運動等を行うとともに、青少年のたまり場となりやすい場所を巡回し、非行防止と健全育成を図る。

##### 11月

###### ★青少年健全育成強調月間

ポスター掲示等による広報活動

##### 12月

###### ★わたしたちの生活を話し合う会

テーマ：「いじめのない学校をつくるために」

参加者：市内小中学校の児童生徒代表

##### 3年

##### 1月

###### ★役員会

令和元年度事業報告

令和2年度事業計画

##### 2月

###### ★青少年健全育成市民大会・社会を明るくする運動

場所：たかいし市民文化会館大ホール

参加者：124名

内閣総理大臣メッセージ朗読

高石市保護司会々長 中谷 正彦

講演：テーマ「不確かな日常を生きるためには」

講師：スクールソーシャルワーカー

谷奥 大地氏

###### ★学校問題研修会

テーマ：「小中学生の最新ネット利用の動向とリスクについて～リモートワーク時代の注意点～」

講師：NIT情報技術推進ネットワーク株式会社

代表取締役 篠原 嘉一氏

### 高石市青少年健全育成推進会構成団体名

(順不同)

高石市	高石市内ガールスカウト
高石市議会	高石市PTA連絡協議会
高石市教育委員会	高石市連合自治会
高石警察署	高石市社会福祉協議会
岸和田子ども家庭センター	高石市婦人団体協議会
堺少年サポートセンター	高石市母子寡婦福祉会
高石市内幼稚園	高石市少年補導員
高石市内認定こども園	高石市子ども会育成協議会
高石市内小学校	高石市スポーツ少年団
高石市内中学校	高石市文化協会
高石市内高等学校	高石市体育協会
高石市内専門学校	高石商工会議所
高石市防犯協会	高石ロータリークラブ
高石市保護司会	高師浜ロータリークラブ
高石市更生保護女性会	羽衣ロータリークラブ
高石市人権協会	堺・高石青年会議所
高石市人権擁護委員	高石交通安全協会
高石市民生委員児童委員協議会	高石中学校区地域教育協議会
高石市社会教育委員	高南中学校区地域教育協議会
高石市青少年指導員協議会	取石中学校区地域教育協議会
高石市内ボーイスカウト	

## 学校問題研修会(講演)

日時 令和3年2月22日(月)

場所 高石市役所別館3階 多目的ホール

テーマ 「小中学生の最新ネット利用の動向とリスクについて  
～リモートワーク時代の注意点～」

講師 NIT情報技術推進ネットワーク株式会社

代表取締役 篠原 嘉一氏



最近、子どもがインターネット上のトラブルに巻き込まれることが増加している。特に新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための外出自粛期間が、子どものインターネット利用のさらなる促進につながった。2週間で通信量を200ギガ使ってしまうほど、ずっとインターネットを使っていた子もいるほどだ。

今は、ポータブルゲーム機やスマートフォンで(自分で持っていなかったとしても保護者のスマートフォンを使用して)子どもたちは簡単にインターネットを介して見知らぬ人と交流することができる。大人と違い、インターネットが当たり前の時代に育った子どもたちは、見知らぬ人とのやりとりを恐れはない。知らない人ともTikTokで遊び、フォートナイトでゲームの攻略を聞く。今、子どもたちの活動の場がインターネットに移っている。

インターネット上のトラブルを避け、子どもたちを守るためには、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)の使い方について注意する必要がある。

SNSは、簡単に人とつながることができ、便利な面もあるが、投稿した画像や動画を、悪意を持って拡散されたり、学校や住所などを特定されたりという恐ろしい面もある。しかもSNSは一度投稿すると消すことができない。

これらを知らずに、安易に不適切な動画を拡散させたり、悪ふざけをした動画を投稿したりすると、被害者が訴えれば、損害賠償の対象となりうる。また、過去の投稿が原因で進学や就職に影響が出ることもある。

アプリの設定によっては、知らない間にデータが収集されており、意図しない人に意図しない情報が知られてしまうことがある。例えば、保護者のスマートフォンを使って、電話帳のデータを収集するSNSアプリに子どもが投稿を行う。保護者の電話帳に登録のある方がそのアプリを使っていると、「知り合いかも」とアプリに表示され、保護者本人の投稿として認識してしまう。

このように、SNSは使い方や設定を誤ると危険である。

SNSに限らず、アプリをダウンロードされる際には、アプリの対象年齢やどのような情報を収集するのか、しっかりとアプリの詳細を確認してほしい。利用規約に他国の法律の基準を適用している場合もある。よく確認せずダウンロードし、アプリを開き、「はじめる」ボタン、利用規約に同意するボタンを押すことで、利用契約を結んだとみなされる。使う前に保護者も子どもと一緒に確認してほしい。

また、使い方のルールを決めるのも重要である。

学校では一人一台のタブレット端末が活用されているが、使わない授業のときは触らせない、「持たせて、使わない。我慢させる」ことが大事である。同様に、家庭でも1日1時間までにし、アナログな体験を通してコミュニケーション能力を育み、インターネットに依存しない暮らしをつくってほしい。

最後に、SNSで子どもがトラブルになっても、スマートフォンをとりあげられるかも、と保護者に相談せずに被害が発覚しないまま深刻化してしまうこともある。被害にあわないための教育も大事だが、被害にあったときどうしたらよいかも含めて子どもと家庭で話し合っておくことが大切である。そして、被害がわかったときには、消費生活センターや弁護士など専門の相談窓口相談してほしい。